

海・山・温泉・人が輝く 夢と温もりの郷

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 44

平成28年(2016)
10月27日

おもな内容

平成27年度 決算認定 ……	2~5
条例改正・補正予算 ……	6~7
一般質問 ……	8~15
委員会報告 ……	16~18
請願書・意見書	
採決一覧・議会日誌 ……	19
みんなの広場 ……	20

トピックス 病院を軸とした地域医療の実現と
経営健全化の抜本的改革を求める



幼さが消え凛とした顔が成長を感じさせる。
心も体も強く逞しい人間に育ってほしい。(9月11日浜坂中学校運動会・組体操)

病院を軸とした地域医療の実現と 経営健全化の抜本的改革を求めめる

第79回（平成28年9月）定例会を9月1日に招集し30日間で30日間の会期で開催しました。町長から報告1件、条例案2件、事件案4件、人事案1件、平成28年度補正予算案9件、平成27年度決算認定12件が提出されました。決算認定にあたり、決算特別委員会を設置し4日間の集中審査の結果、原案のとおり認定しました。今回は決算認定を主に報告します。

一般会計の決算

平成27年度は、「安心・元気・地方創生予算」と位置づけ、健全な財政基盤の確立を主体とした予算編成に基づいて事業実施されてきたと、評価する。

平成27年度の歳入歳出決算状況は、歳入総額107億5,725万1千円、歳出総額103億2,668万9千円、歳入

歳出差引額（形式収支）は、4億3,056万2千円となり、そのうち平成28年度に繰越すべき財源302万4千円を差引いた額（実質収支）は、4億2,753万8千円となっている。

普通会計における平成27年度末の町債現在高は、135億5,493万4千円であり、実質公債費比率は13・6%となっている。

特別会計の決算

債務残高比率は218・0%となり、町民一人当たり町債残高は87万7,385円といずれも増加している。

平成27年度における8事業特別会計の歳入決算額は、52億6,955万2千円、歳出決算額は、50億7,

公営企業会計の決算

平成27年度公営企業会計（浜坂温泉配湯事業・水道事業・公立浜坂病院事業）の決算は、それぞれの事業会計において、公営企業の原則である経営の健全化に努力されているが、なお一層の努力を期待する。

特に、病院事業は危機的な状況が継続して

おり、原点に立ち返り抜本的な大改革に挑戦されたい。

更に、前例踏襲や課題を先送りすることなく、解決へ向けて計画に基づき、年次的かつ着実に実行することが急務である。



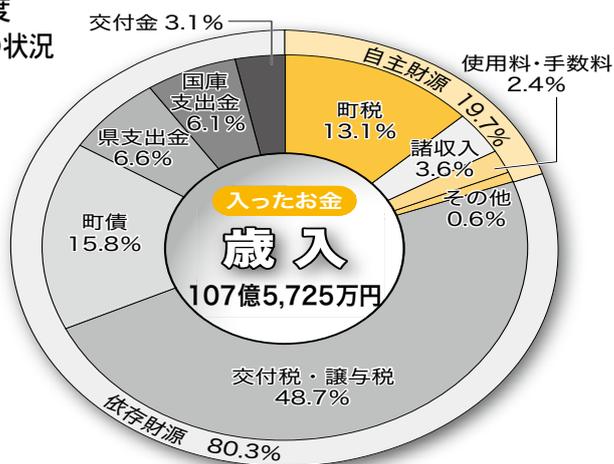
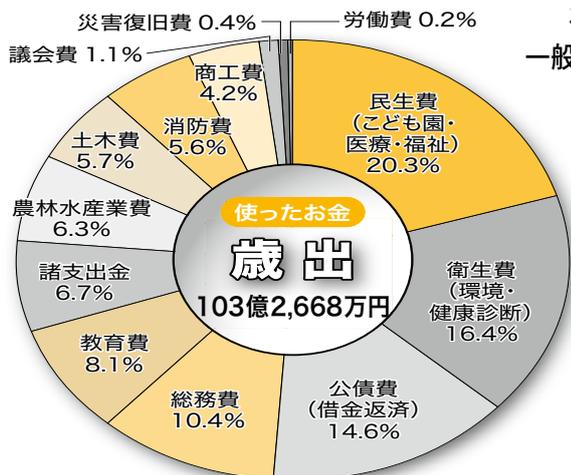
されている病院フォーラム。研修医学生の病院経営の基本が安定する。

平成 27 年度 各企業会計の状況

（単位：千円）

会計名	収益収支		資本収支	
	収入	支出	収入	支出
浜坂温泉配湯事業会計	51,826	38,470	0	66,797
水道事業会計	428,272	425,302	283,518	468,141
公立浜坂病院事業会計	1,199,342	1,306,989	159,000	158,611

平成 27 年度
一般会計決算の状況



平成 27 年度 各特別会計の状況

(単位:千円)

会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	差引 (A) - (B)	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
国民健康保険事業					
事業勘定	2,159,779	2,107,568	52,211	0	52,211
照診施設勘定	32,280	32,280	0	0	0
八診施設勘定	16,469	16,469	0	0	0
歯科施設勘定	50,099	50,098	1	0	1
後期高齢者医療事業	202,552	199,824	2,728	0	2,728
介護保険事業	1,704,193	1,648,867	55,326	0	55,326
浜坂地区残土処分場事業	132,987	92,236	40,751	40,188	563
温泉地区残土処分場事業	42,645	42,569	76	0	76
コミュニティ・プラント事業	49,850	47,055	2,795	0	2,795
七釜温泉配湯事業	36,646	31,724	4,922	0	4,922
下水道事業	842,052	808,307	33,745	0	33,745
合計	5,269,552	5,076,997	192,555	40,188	152,367

②保健・健康・福祉 施策の推進
住民の健康管理のため、様々な健康診断を実施し、受診率は向上しているが、一層努力されたい。
特に、医療は、診療所を含めた地域医療

①町税の徴収
住民負担の公平性の観点から、更に徴収体制の徹底と収納確保に努力されたい。併せて、使用料、手数料等未収債権が増加しており、町税同様滞納の収納に全力を傾注し、速やかな解消と滞納繰越の防止を図られたい。



能動的、積極的
に意欲をもって
(監査結果等から)

③職員の人材育成
管理職員には、管理監督職員としての意識、統率力の向上を、中堅職員には創意工夫等、業務に対する意欲を、新任職員に対しては社会人、勤務者としての職場教育を徹底するなど、職員のレベルアップに努力された。業務は、能動的、積極的に意欲をもって、事務、事業を遂行し、

の今後のあり方を見据え、病院運営を軸に治療と予防を一体化させた住民に信頼される地域医療の実現と、経営の健全化に向けての抜本的な改革を引き続き強く要望する。



信頼される病院づくりの一環で実施受け入れが、医者の確保に繋がれば

④業務の簡素化・合理化
職員と住民との意思疎通が希薄化しつつあると危惧する。
また、効率的な業務の遂行にはチームプレーが必要不可欠だが、縦割り等、組織内の意思疎通、連携、調整が不十分であると感じられる。早急に改善策を講じる必要がある。制度や事務事業を総点検して、見直し、圧縮等、事業の取捨選択が必要である。さらに努力されたい。

施策の効果確かめる

決算認定は、決算から施策の成果を点検し次年度に反映すべく議論するものです。今回の決算特別委員会では、委員長に中井勝議員、副委員長に池田宜広議員を選出し、議長を除く14名の委員で一般会計・特別会計・企業会計の全13会計を審査しました。集中して多くの議論がありましたが、紙面都合のため一般会計の一部を紹介します。

総務費

- Q** 総務費の報償費1,501万円の内容は、
- A** 町内114地区の区長・町内会長への報奨金である。
- Q** 企画費の報酬207万円不用額はなぜ。
- A** 開催を予定し予算計上していた土地利用委員会を開催しなかったため。
- Q** 合併十周年記念式典での、表彰者が限定されている。
- A** 表彰基準に則しての表彰であり、公平である。
- Q** 企画費の負担金・補助金約1億6,200万円の主なものは何か。
- A** 町民バス（夢つばめ）、町民タクシー、ゆめぐりエクスプレス、但馬空港利用促進事業である。

民生費

- Q** 敬老会を全地区に広げるべき。23地区では少ない。
- A** 拡大に向け努力はする。
- Q** 緊急通報システムは本当に機能しているのか。十分に活用し孤独死を防ぐべき。
- A** 5件の要請があり出動し助かった命もあると認識している。
- Q** ユートピアを民間委託すべきでは。
- A** 将来的には検討していく。
- Q** 放課後児童クラブ「すこやかーに」遊び場所を設けよ。
- A** 広くて快適だが学校から遠いのが不便。
- Q** 認定こども園の労働環境、長期欠勤者はいないか、また臨時職員の場合が多いが、体制改善はしないか。
- A** 1名の欠勤教諭がいる。ストレスチェックを実施しメンタル対策を行っている。組織改善のため職場チェックをする。園児に対する保育士配属国基準6人に1人を、本町は3人に1人と優遇している。

衛生費

- Q** 町指定のごみ袋はなぜ半透明なのか。
- A** 本来は透明で考えていたが、町民の要望で半透明にした。
- Q** 汲取り量が増えたのはなぜか。
- A** 浜坂道路等の仮設便所が増えたから。
- Q** サンシーホールの高校生の就職状況は。
- A** 平成28年8月末で、全校生徒96名中就職希望者は21名、町内での就職は14名が希望している。

討論

平成27年度一般会計
決算認定

反対

中井次郎 議員

クリーンパーク建設にかかわる経費だ。ごみ処理は各自自治体で処理するのが原則。加えて燃やすことを極力抑え、再資源化することが「循環型社会」の形成となる。クリーンパークは焼却処理を進める施設だ。産棄である下水道施設から出る汚泥は、これまで堆肥化が図られていたが、それをこの処理施設で焼却する。炉を高温に保つため、焼却温度が高すぎ炉を傷めてしまうといわれてきた廃プラを燃やす。この処理方法は焼却炉の消耗を早めることとなる。よって反対する。



「但馬牛まつり」のメイン行事は牛の造形物パレードである。年々参加団体が減少し今回は3組となった。入込客も減少気味。知恵と工夫が求められている。

り等は常にしている。

Q 船内からオイル漏れにより、匂いがしたカニが出回った事実があったか。

A オイル漏れが原因ではない。

Q サンビーチ東屋のテーブルに穴が開いているが。

A 県との協議で次年度に対応する。

商工費

Q 旧温泉高校の跡地

(地域活性化施設)の管理は。

A 十分ではないが草刈りはシルバー人材センターに委託している。

Q 施設の活用促進はどのように進めているか。

A 町HPなどを利用して行っている。

Q 薬師湯の管理、脱衣場の床の修繕は。

A 施設は湯財産区に指定管理している。床の件は確認する。

Q バイカモ公園の看板を設置すべき。

A 県との関わりもあり県と協議をし検討する。

Q バイナリー発電量が当初の計画より低下しているが。

A 発電の停止期間があり、通年発電になると、予定量は発電できない。

Q リフレッシュ館の入館者数が減っているが。

A 夢公社独自の取り組みをしながら誘客に努めている。

Q ジオパーク館はこの町の観光振興に役立っているか。

A 年間2万4,000人程度の入館があり、観光に貢献している。

消防費

Q 防災訓練のあり方は現状でよいのか。

A 企業の方々とも手を結んでいる。

土木費

Q 大規模集客施設に耐震化助成金を出すなら、公共下水接続を求めべき。

A そのように努める。

教育費

Q 夢が丘中学校のエアコン設置が遅れているようだが。

A 浜坂中学校は大規模改修時に設置、昨年度から夏に室温、湿度の調査を行った結果、特に湿度が高いため国庫補助制度を検討している。

Q 浜坂中学校のスマホの普及はどの程度か、夢が丘中学校生徒会でルール化もされているようだが。

A 保持は6割〜7割程度。学校内での利用は禁止している。校内でも一般電話での連絡を基本としている。夢が丘中学校生徒会の取

組は望ましい活動だ。

Q 通学費補助において、両中学校間で大きな差があるが原因は。

A 夢が丘中学校は8名の自転車通学補助、浜坂中学校は汽車通学38名、自転車通学35名により差がでている。

Q 子どもの貧困が問われているが、教育現場での事象があるか。

A 法律でも子どもの貧困について教育費無償化等の対策が講じられている。現実に、経済的な理由で学校に行けない児童もある。対応は健康福祉課と連携したフォローをはじめ、「チーム学校」などでも対応している。

Q 地区公民館の未結成校区があるが、いつ事業開始となるのか。

A 奥八田、熊谷、温泉地区で地区公民館が未結成。それぞれ事情があるが、今年度中に温泉地区に出向き説明を行う。

反対

高橋邦夫 賛

① 臨時職員の待遇について、労働基準監督署の是正勧告は異例中の異例であり、全職員の40%以上を占める臨時職員に対する姿勢を問われた。

② 過疎高齢化、少子化、若者定着等、人口減少への具体的施策に伸長がなく、先の課題へ着実な取組を最優先しなければならぬ。

③ 病院の資金不足比率解消のために年度末での繰出しは唐突で、信じがたい高額であった。現在の病院の経営状態が継続する可能性が大であり、見過ごせない。

以上3点を指摘し反対する。



造成工事が進む道の駅、いよいよ建築工事がスタートする。
工期は来年7月21日である。

チェック！ 条例改正

こんな「決まり事」になりました

**いよいよ着工、運営
主体は決まったか**

**新温泉町道の駅建築工
事請負契約の締結**

(説明) 条例の規定により、議会の議決を求めたもので内容は次のとおり。

1. 契約の金額
2億8,014万4千円
2. 契約の相手方
株本建設工業(株)代表
取締役社長 株本寛

主な議論

Q 指定管理者(運営主体)はどのようになっているのか。

A 条例制定を準備している。スケジュールどおり制定後に指定管理者を募集する。

Q 建設工事で県土木と町の持ち分は。

A 土木は8,200万円、町は2億600万円。

Q 落札比率が99%で高すぎるのではないか。

A 1回目で落札できず2回目の入札結果である。

Q 飲食棟は指定管理者の思惑に合わなければどうするのか。

A 工事等、変更もあり得る。

Q 進入路は歩行者の安全が確保されるのか。

A 高校生の自転車や小学生の通学路であり、県と警察で協議されている。

多くの議論の結果、賛成多数で可決。

使用料は指定管理者が徴収するもの

新温泉町道の駅条例の制定

(説明) 新温泉町道の駅の整備に伴い、条例を制定するもの。

主な議論

Q 使用料の根拠等は。
A 使用料は運営上の

最高額を規定。最終は指定管理者と出店者での話し合いとなる。

Q 無休で運営すべき。
A 無休を基本。

Q 指定管理者への持ち出しはあるのか。
A 想定していない。

Q 指定管理者がすべての施設運営を行った場合には使用料が発生しないのか。
A そのとおり。

Q 県からのトイレ委託料はどの程度か。
A 参考には余部は300万円程度と聞いています。

Q 入込客数は。
A 年間20万人程度を想定している。

Q 情報発信事業も指定管理者にやらせるのか。
A 不採算事業であり、運営方法は検討の余地がある。

Q 施設の維持管理経費はどの程度か。
A 詳細な計算はない

が近隣や他の施設の状況で算定している。多くの議論の結果、賛成多数で可決。

現の協力隊員にも適用すべき

非常勤の嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(説明) 地域おこし協力隊に関する制度改正が行われたことに伴い改正するもの。

主な議論

Q 来年の4月実施だが、現の隊員16万5千円も20万8千円になるのか。
A 対象は新規隊員の募集からで、現隊員は現時点の16万5千円(従来報酬額)。

Q 同じ仕事で任期も3年、経験の長い隊員が少ない報酬額だが問題は発生しないのか。
A 今回は新規募集し

た隊員が対象。今後現実的に改定の必要あり検討はする。多くの議論の結果、賛成多数で可決。

開発に伴う調整池の考え方は

財産の取得(新残土処分場の用地取得)

(説明) 条例により議会の議決を求めたもので、内容は次のとおり。

1. 財産の種類規模
土地(田) ほか
29,185.48㎡
2. 財産の所在地
新温泉町戸田字和泉谷
3. 取得金額
48,739,697円
4. 取得先
山陰道路(株)代表取締役 株本高志外1名

主な議論

Q 買収単価はどのよう
に決定したか。
A 土地鑑定士の鑑定
結果である。

Q 開発に伴う調整池の考え方、法人所有地だが農地が所有できるのか。

A 調整池の規模は決定していないが、防災を最大限に考慮する。法人所有の要因は昭和22年に時効取得で所有したものである。多くの議論の結果、賛成多数で可決。

その他、防災行政無線デジタル同報系整備工事請負契約の締結及び、水道事業の事故に伴う「損害賠償の額の決定及び和解」議案が提案され、賛成多数で可決された。

報告他

健全化判断比率及び資金不足比率の報告

次のとおり報告された。

平成27年度各健全化判断比率において、実質赤字比率、連結実質赤字比率では赤字は生じていない。実質公債費比率は前年比1.5ポイント改善され、13.6%である。将来負担比率は、前年比4.2ポイント改善され、105.8%である。

健全化比率は好調、病院事業の資金不足は危機的

立浜病院事業会計が19.3%と、対前年3.2ポイント悪化している。しかし、内情は一般会計からの支援による特別利益での基準内であり、早急に抜本的な経営健全化が不可欠である。その他の4会計は、資金不足は発生していない。

健全化判断比率 (%)			
区分	平成27年度 決算	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	-	14.21	20.0
連結実質赤字比率	-	19.21	30.0
実質公債費比率	13.6	25.0	35.0
将来負担比率	105.8	350.0	

(備考) 実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「-」と記載している。

資金不足比率 (%)		
特別会計の名称	平成27年度 決算	経営健全化 基準
浜坂温泉配湯事業会計	-	20.0
水道事業会計	-	20.0
公立浜坂病院事業会計	19.3	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0
七釜温泉配湯事業特別会計	-	20.0

(備考) 資金不足が生じない場合は、「-」と記載している。

平成28年9月補正予算 一般会計、特別会計、企業会計

(単位: 千円)

会計名	補正額	補正後予算額	
一般会計	52,209	10,154,521	
特別会計	国民健康保険事業勘定	77,790	2,263,201
	後期高齢者医療	2,727	215,634
	介護保険事業	21,948	1,709,217
	浜坂地区残土処分場事業	0	83,453
	温泉地区残土処分場事業	0	22,788
	七釜温泉配湯事業	4,920	12,637
公営企業会計	水道事業	4,476	1,196,544
	公立浜坂病院事業	10,705	1,682,134

チェック! 補正予算

まちの台所事情が変わりました

若者定住を支援する定住促進住宅及び住宅リフォーム助成に420万円増額!

この度の一般会計補

正予算は、年度途中での事業進捗や新たに発生した状況に対応すべく各費目全体にわたって予算補正が行われた。

また、新規の事業で主なものは、民生費ではマイナンバー制度に対応するため障がい者福祉システム導入業務、労働費では定住促進住宅取得助成金300万円、商工費で

は住宅リフォーム助成120万円、土木費では道路橋梁費の工事請負費983万5千円、修繕料200万円、消防費は消防団員退職報奨金32名分318万3千円がそれぞれ増額となった。今回の一般会計補正は5,220万9千円を増額し、一般会計予算は総額101億5,452万1千円となった。

また、併せて国民健康保険事業特別会計補正予算ほか4件、水道事業会計補正予算ほか3件も議案上程された。これら補正の多くは平成27年度各会計決算の確定に伴う繰越金の処理として補正されたものである。いずれも賛成多数で可決承認された。各会計の補正額は次の表のとおりである。

ずばり！ 町政を問う。



一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営を進めているかを点検することと、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

本町議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができます。質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。一般質問の質問時間は、答弁時間を除き40分以内で、時間内であれば何回でも質問することができます。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を作成し掲載しています。今定例会の質問議員は7人でした。次のとおり紹介します。

頁	質問者	質問事項
9	中村 茂	①協働でつくる「海、山、温泉、人が輝く夢と温もりの郷」 ②“海、山、温泉”を生かした産業振興の評価
10	池田 宜広	①浜坂病院について ②公共施設の今後 ③観光資源の活用 ④魅力発信
11	西村 銀三	①人口対策 ②ふるさと納税
12	谷田 一富	①湯村温泉荒湯の安全な管理を ②新温泉町「道の駅」事業成功させるために何が必要か
13	高橋 邦夫	①「道の駅」は町民の理解が得られていない ②JR田君踏切歩道の安全対策は ③管外研修での教訓
14	谷口 功	①地域医療構想（案） ②図書館のあり方
15	中井 次郎	①鳥取市との連携中枢都市圏形成はどこまで進んでいるのか ②燃やすごみ処理・資源分別を16から19に増やした理由を問う ③有害鳥獣対策

※質問は通告受け付け順に掲載しています。



中村 茂 議員



地域振興、地域福祉、地域防災、人づくりの4分野を協働で

町長 4分野を含め、力点を置きたい

今回は町総合計画の見直しの機に当たり確認と質問を行う。

問 海、山、温泉、人が輝くためには、行政と住民等との信頼、連携、協力による協働が必要。町の総合計画にある自治基本条例の制定はできるのか。

町長 協働は共に自立した立場で目的を共通にして、なおかつそれぞれの役割を尊重しながら責任ある対応で、

行動をとるにもする。ことと認識する。

企画課長 自治基本条例は、議会基本条例とセットで考えており、未制定の状況である。「地域コミュニティのあり方」を次期総合計画に入りたい。

町長 議会にゲタを預けたわけではないが、なかなか同時にはできない。新総合計画に盛り込みたい。

問 協働と地域コミュニティの維持存続において、地域組織が担う重点として、地域振興、地域福祉、地域防災、人づくりの4分野を総合計画の議論をもってシステムを確立してほしい。

町長 地域コミュニティ等、地域政策を重点

的に対応していくことは、私自身も痛切に感じている。総合計画の策定中であり、先ほどの4分野を含め、力点を置きたい。

海、山、温泉を生かした産業振興の評価

問 観光戦略の推進においては各団体や組織の連携が重要である。観光はトータル産業と観られて久しいが、町の観光力はアップしたのか。どう評価しているのか。

町長 直近の観光入り込みは、24年から107万人台をキープしていたが昨年は108万3千人に増加。インバウンドは、4444人から昨年は888人

と、数字は少数だが倍増している。事業者を含め頑張っておられる。農林漁業含め観光がトータルティな、そういった事業だという認識は同じである。

問 両観光協会の活性化のため、県ツーリズム協会等の支援事業をと、数字は少数だが倍増している。事業者を含め頑張っておられる。農林漁業含め観光がトータルティな、そういった事業だという認識は同じである。

町長 町にかなった支援事業は、観光協会です算時期に行政に対して事業の企画を、しっかりと提案があれば、一定の支援措置は講じたい。



スポーツクラブ21八田で継続実施されている八田地区運動会。和やかな笑い声が谷間に響いていた。新しい地域コミュニティのスタイルだ。

「浜坂病院」今後の、経営改善具体策は

町長 改革プランを定め、赤字幅を削減したい



池田 宜広 議員



「浜坂病院」今後の経営改善策は

問 近年、特にここ一、二年、いろいろな策を打ちながら前進、改善に向け努めているのは認める。しかし飛躍的に好転したわけではない。毎年、数億もの財源を投入している。この様な現状を打破するため、今後の具体策をどう考えているのか。

町長 就任して7年になるが、平成16年より医師の研修制度が大きく変わり、存続することさえ厳しい状況が続いていた。しかし地域の皆さんの健康を守る

問 近年、特にここ一、二年、いろいろな策を打ちながら前進、改善に向け努めているのは認める。しかし飛躍的に好転したわけではない。毎年、数億もの財源を投入している。この様な現状を打破するため、今後の具体策をどう考えているのか。

町長 就任して7年になるが、平成16年より医師の研修制度が大きく変わり、存続することさえ厳しい状況が続いていた。しかし地域の皆さんの健康を守る

思いを真摯に受け止められる場、浜坂病院の役割を、皆さんと相互に確認し合える取り組みを進めている。

「公共施設」の今後

問 当町だけが厳しい予算ではない。考え方も、手の入れ方一つによって大きく変わる施設もある。色々な物者に繋がる長期的展望を伺いたい。

町長 公共施設全般にわたり総合管理計画を策定し、漸次修繕を描ける物、適正にする物等々に仕分けし実施していく。色彩は今後計画の中で、利用者の使いやすい方向で配慮していきたい。

観光資源の活用「ジオパーク」もっと活用すべき

問 次年度、道の駅の

名称にもなるであろう「ジオパーク」世界的な名称を、より多く活用すべきではないか。

町長 確かに、ユネスコの正式認定により世界的に認知された。観光あるいは体験ツアー等々をここにしていきたいと思っている。

問 遊覧船だけでなくヘリコプターでの遊覧飛行で誘客を試みてはどうか。

町長 理解はできるが、現実には難しい。

当町の「魅力発信」が薄くないか

問 当町の「海、山、温泉」等多くの魅力の発信が弱い、もっと前面に出し発信すべき。

町長 あらゆる伝達手段を通じ、町の魅力を発信していきたい。



山陰海岸ジオパーク館は世界認定を目指した本町の意気込みの象徴である。遊覧船の本格運営に合わせた新たな誘客が必要だ。



西村 銀三 議員



大混乱のゴミ処理、町民目線で見直しを

町長 全体的に見直したい

問 4月からゴミの収集方法と焼却場所が変わった。それによって

分類方法が変わり、大混乱を起こしている。電球がどつして金属なのか。蛍光管もLED化してきており、どっちで処理するのかよく分からない。

町長 電球は金属である。LED管も金属だ。蛍光管は金口にフィラメントがついているのでLEDとは違うこと

が分かる。LEDは長寿命ですぐには出てこない。

問 4月からは瓶とアルミ缶が同じ日になったり、金属類と蛍光管が同じ日になったりと本当に分かりにくい。

町長 お金になる資源物を久谷のリサイクルセンターで分類処理しているが、アルミ缶とスチール缶を一緒にすると売却時の価格が安くなること、リサイクルセンターは狭いため分別機械を設置することが出来ないから町民にお願いした。

問 集められた缶などはいくらで業者に買って貰っているか。また、ペットボトルの

シールはお金を払って引取って貰っているが、そんな無駄なことはせず一般ゴミとして処理してはどうか。

町長 最もお金になっているのが金属類で、次がアルミ缶、スチール缶、紙類で、逆にお金を支払っているのがプラ製容器、ガラスなどである。出来るだけ再資源化をしたいというところでそうなっているが、全体的に見直し

人口減少対策は

を検討したい。

問 昨年10月の国勢調査では、人口は5年間で7・4%減り、合併した10年前と比べると15%も減った。特に温泉地区では20%以上減少し、商店の廃業など

色々な面で深刻な状況が続いている。来年には余部まで、さらに数年後には鳥取への高規格道路も完成する。それらが過疎に拍車をかけることにならないよう、活性化につながる手を打つべきでは。

町長 京阪神、中国地区に高速バスを走らせるなどして道路のメリットを最大限活かせるよう頑張りたい。



町リサイクルセンターでは、町民の協力で収集したごみの有効活用のため、選別作業を行い品質向上に努めている。(写真はペットボトルの選別風景)

定住人口確保の為に町外勤務の方へ補助金を

町長 誘導策の一つとして考えなくてはならないと思っている



谷田 一富 議員



人口ビジョンによると

問 将来の人口予測の合計特殊出生率であるが、出生率を上げてても人口は減少していく。東京のように出生率が全国最下位でも人口はどんどん増えていく。この数字のアンバランスでの表示より、出生率

の分母になる15歳〜49歳までの女性の人口がいかに増やしていく具体的な施策を示していくべきではないか。
町長 人口の減少というものは、出生率のことでももちろん起因するわけだが、そのみではない。

(2) A/Dの推移
本町の地方創生計画で纏められた人口ビジョン、人口増の取組みに期待したい。

年度	A/Dの推移
2020年度	A/D 13,000人増加します。合計特殊出生率は1.62を維持します。転入・転出差は出生率を決定します。
2025年度	A/D 15,000人増加します。合計特殊出生率は1.77を維持します。転入・転出差は出生率を決定します。
2030年度	A/D 17,000人増加します。合計特殊出生率は1.92を維持します。転入・転出差は出生率を決定します。転入・転出差の増減(増減率)は、平成27年度からの増減率を維持します。

※注：出生率(出生数/出生数)は、転入・転出差を決定します。転入・転出差の増減(増減率)は、平成27年度からの増減率を維持します。

ベッドタウン化について

問 高規格道路が全線開通すれば豊岡市・鳥取市に20〜30分で行くことができ、通勤圏内になっていく。時間的に考えれば、十分ベッドタウン化が可能な地域になる。全国を見れば人口が増えている地域はベッドタウン化がうまくいった地域は人口が増加傾向にある。我が町もピンチはチャンスと捉え真正面から取り組んでみたらどうか。

町長 やがてそういう時代が来ると、御指摘の件は何ら否定するものではない。

1000人委員会について

問 今年度から移住定住を推し進めている我が町として、若者にまちづくりに参加させることは、この町に住ん

でよかったと思ってもらせることになるのではないか。そういう意味でも、1000人委員会を実施すべき。

町長 若者の意見を聞くということも本当に必要なことだという認識は持っている。ただ、1000人ということになると大変なことであるので、それがいいかどうか慎重な対応が欲しいというふうに思う。

ふるさと納税について

問 27年度のふるさと納税の寄付額が発表になっており、27年度は、前年の4倍に当たる1,653億円になっている。全国1位は都市で、実に新温泉町の予算の40%に当たる42億3,100万円となっている。3月議会で積極的に取り組むべきだとの請願書が提出され採択された。議会の採択は大変重いものがあると思うし、議会

と両輪であると考えながら、何らかの決断を出していくべきと考えるが。

町長 今、湯めぐりチケットというものを、寄付者の方々に、気持ちで送付している。それ以外の物品とか、そういうものについては指示していない。

問 我が町の27年度の実績は43件で266万5,000円で、我が町の町民の他市町への寄附が、463万1,500円です。この町に入ってくるより出ていく金額が大幅に上回っている。このことについて町長はどのように考えているか。

町長 税額控除は172万7,000円で、いただいた金額が上回っている。これがマイナスに転じるというようなことになれば、私の個人的な思いとしては、こういう制度は廃止してほしいというふうに思っている。



高橋 邦夫 議員



町民のための道の駅にしてはどうか

町長 愛される道の駅にする

問 道の駅建設に対する町民の不安は解消されていない。誰のためにつくるのか。町民のためか 観光客のためか。

町長 道路の利用者であり、公の施設として町民の利便に供することだ。

問 観光客のためとするなら立地環境を見てもそれは期待はずれとなる。町民が利用しやすい町民のための道の駅にすべき。

町長 日常的に利用され愛される道の駅をつ

くっていく。
問 運営は公募による指定管理方式に変更はないか。

町長 直営はあり得ない。公募が原則だ。

問 湯村温泉をはじめ町のインフォメーションには、人的配置が必要ではないか。

町長 人的配置を含め、具体的な対応は今後の検討課題だが、情報発信に努めたい。

田君踏切の歩道改良後の安全対策を

問 田君踏切の歩道が改良されたが、その先の国道178号線を歩行者・自転車・歩行機などの横断が極めてしにくい。また178号線から車での右折左折も十分な安全確認が必

要だ。町民の安全を確保する上から、このまま放置できない。関係機関へ安全対策の強力な取り組みが必要だ。

町長 指摘のとおり、いかにも危険性が高まっているので対応が急がれる。公安委員会へはPTA協議会・町民課等協議しながら地元の要望しており、暫くの時間がいるが横断歩道ができるものと聞いている。

町づくりイコール人口問題。体制強化が必要

問 人口減少に伴い高齢化が急速に進み地域コミュニティの衰えと人材不足からの人的空洞がおきている。消滅の危機が存在しているのに、そこに目を向け

ることを避けてきた。集中的に人口対策に取り組むことが重要だ。そのための総合的な人口対策を担う部署が存在していない。人口問題の専門的な部署を設けて集落支援員・地域づくり協力隊を結集し企画・立案・調整機能を持つて取り組むべきではないか。

町長 町の人口は先の国勢調査から見ると予想の倍速のスピードで減少していることに驚いている。過去の消滅集落には住居の用意な

ど行政としても対応してきた。

問 行政も議会も人口対策に効果的な手立が打てなかったことは事実だ。平成の大合併はスケールメリットが強調されたが、現在はそれがデメリットとなっている。人口減少により財政圧迫され住民サービスの低下が心配される。

町長 合併後の財政状況は指摘どおりだが、行政サービスの出来るだけ維持していく努力する。



田君踏切の改良がなされたが、歩行者の安全対策が欠落している。早期の対策が必要である。

但馬の公立病院を守ろう

町長 最善を尽くしたい



谷口 功 議員



問 安倍政権は戦争法を推進し、人を殺す戦争とは真反対に位置する、医療・介護・生活保護・年金など、人を生かす社会保障を大幅に削減している。昨年度は、「地域医療構想」を都道府県単位、医療圏ごとに策定することを求めているが、その背景や目的を明らかにし、但馬とわが町の医療、さらには浜坂病院にどのような影響があるのか、わかりやすい内容説明を求める。

町長 団塊の世代が75歳を迎える2025年には医療・介護の需要増大が予測され、適切な地域医療の提供体制、地域完結型医療圏

問 域構想を策定するもの。①病床機能分化、連携推進②在宅医療充実③医療従事者確保の三つの重点が設定されている。これによって、病院間の連携、病院と開業医の連携、医療と介護の連携、地域包括ケアシステムの体制強化が必要となる。すでに浜坂病院で行っている総合診療、在宅医療、予防医療の方向性と一致する。

町長 教科書どおりの答弁だが構想の狙いは第一に医療費の抑制、第二にそのために但馬の病院のベッドを大幅に減らすことではないか。

町長 そういう面も少なからずあり、且つ適



本町の医療の拠点は浜坂病院である。その責任と役割を果たさなければ病院は守れない。更なる努力を期待したい。

正な水準にするという面もあるのではないかと。1518床を1400床に減らすといわれているが、どの様な議論がされているのか。

町長 国の提示は1150床であるが、1400床に落ち着いた。まだ最終結論でなく、個々の病院を何床にするといった議論はされていない。浜坂病院はすでに110床を55床に減らしているの

これ以上減らせないと意見を述べた。

問 ちょうど10年前に、医師不足を理由にした「但馬の医療再編」が大問題となった。但馬に九つの公立病院があり、いずれも医師不足であった。「但馬医療確保対策協議会」を設置して医師確保を推進するはずであったが、その結論は、北但は豊岡病院・南但は八鹿病院を中核病院と

し、各公立病院の医師を集約する（豊岡・八鹿病院に集める）、そのため浜坂病院の常勤医師が大幅に減らされ、病床も半減した。香住・村岡・出石・梁瀬・日高病院なども削減された。今、同じことが繰り返されようとしているのではないかと。中でも、日高医療センター（日高病院）を、無床の診療所にしようとしている。日高病院は豊岡病院の回復期の機能を担い、眼科センターを設け但馬各地から患者を受け入れている。新温泉町住民も多くの方が入院治療を受けている。日高医療センターの無床化も、但馬の公立病院の病床もこれ以上減らすような「医療構想」であってはならない。

町長 当然ながら、今の病床数を確保するべく最善を尽くしたい。構想は但馬全体の中の判断である。



中井 次郎 議員



鳥取市との連携中枢都市圏は道州制につながるのではないのか

町長 道州制につながるならいようにしていく

問 4月14日付の新聞に、鳥取市が岩美、若桜、智頭、八頭、新温泉、香美町の6町と協力し、行政サービスや地域活性化に取り組むと報道されている。連携中枢都市圏とは一体どんなものなのか。

町長 昨年の8月に鳥取県東部1市4町と、新温泉町、香美町ともに地方創世の一環で麒麟獅子のまち圏域連携

事業というものを発足し、幸い地方創世交付金も受けることになった。そういう中で、この4月に鳥取市長の方で、検討してみようということになり、勉強会をしようということである。

企画課長 定住自立圏については、生活に必要な機能の確保が目的である。連携中枢都市圏は、その機能に加えて経済成長をけん引できるとか、高次元の都市機能の強化などの事業に、特別交付税の措置がされる。

問 勉強会を立ち上げる段階だということだが、鳥取市民に配布

したチラシでは、平成30年4月には中核都市を目指すと言っている。平成27年9月には鳥取市議会も中核都市移行推進決議をあげている。鳥取市総務企画委員会のスケジュールによると、平成28年6月28日委託事業採択決定、7月15日総務省と委託契約を締結、9月から12月については、調査事業の実施、平成29年1月には調査結果の取りまとめというようにスケジュールが決まっている。

町長 4月に提案があったのは、いまいわれた事業を平成28年に取り組むことを含む勉強

会である。

問 定住自立圏との違いは、連携中枢都市圏ビジョン懇談会を立ち上げ、ビジョンを決定する。その懇談会には6町は参加できないこととなっている。この連携中枢都市圏は都

道府県をこえた道州制（合併）ではないか。
町長 ビジョン作成の段階に町が入れないなどということは初めて知った。道州制につながらないように声をあげていきたい。



町の医療や経済は鳥取市を中心とする圏域に含まれている。新たな連携中枢都市圏の動きにも敏感に対応してほしいものだ。

総務教育常任委員会

平成28年9月5日開会

こども教育課

報告事項

浜坂認定こども園の立替候補地における重点項目

現在の敷地面積と同等以上の確保、職員・来客等の駐車場の確保ほか

Q 将来を見据えての面積となっているか。

A 将来を勘案した上で検討したい。

年収360万円未満のひとり親世帯及び多子世帯の保育料の負担軽減を図る

生涯教育課

報告事項

夢ホール改修について

Q 夢ホールの女性用トイレを洋式に改修できないか。

A 夢ホールの耐震診断と、トイレの改修は

考えている。

岸田川駅伝競走

10月23日開催

Q 参加チームが少ない。

A 一般の参加は17チームである。(昨年の実績)。

文化祭

浜坂 10月29日



夢ホール女性トイレは様式1か所、和式3か所がある。福祉大会など高齢者対象の事業では様式トイレに長い列ができる。早期の改修を求める。

温泉 11月1日～3日

税務課

報告事項

町税徴収実績

Q 固定資産税の納税者が前年比35名減っている。

A 相続とか売買によって減った。

軽自動車税について

燃費の不正にかかる問題は兵庫県の協議対応で処理する方針。新温泉町の対象車は23台である。

企画課

条例改正

地域おこし協力隊に関する制度改正

報償費のアップ

現行16万5千円を20万8千円以内とする。

Q 現在勤務している隊員にも適用されるか。

A 適用されない。今後採用される隊員より適用される。

採決の結果 賛否同数となり委員長裁決により委員会として了承した。

報告事項

第3次町情報化計画について

目的 町の情報化推進

に対する基本的な考え方や方向性を示し計画的な施策展開を図る。

スケジュール 28年4月～7月

情報化推進委員会設置要綱改正

28年8月～11月 情報化推進委員会開催

29年2月～3月 パブリックコメント、情報化推進本部会議

総務課

報告事項

健全化判断比率及び資金不足比率についての詳細の説明

浜坂病院について

Q 浜坂病院は資金をいくら必要とするのか。

A 一般会計から2億円の繰り入れが必要と思われる。今年度以降も同じ程度必要であるとみている。

産業建設常任委員会

平成28年9月6日開会

牧場公園課

報告事項

Q ラクビースクール（高砂、津山）の利用がある。ラクビーの町としてPRできないか。
A 冬季以外の集客で考えたい。

農林水産課

報告事項

Q 農業委員会の改正のメリット、デメリットを問う。
A メリットは専門性がある。委員数減で細かい活動ができるのか心配。
Q 有害鳥獣捕獲。具体的対策は。
A 焼却施設を作るのが効果的だが、町単独では困難。香美町と共同で造れないか協議している。

建設課

報告事項

Q 空き家等対策協議会1度でも会議しているか。
A 8月23日第1回開催。空き家対策での町の体制を示し意見を聞いた。

協議事項

財産取得について

(新) 残土処分場用地
Q 進捗状況、動向は。
A 相談中、相続の方等地権者は5名で24筆である。

特別会計補正予算（浜坂地区残土処分場事業・温泉地区残土処分場事業）

委員会として承認する。

商工観光課

報告事項

Q 地方創生加速化交付金確定結果は良かったか。
A 概ねやりたいうところは頂いたと思う。

協議事項

新温泉町道の駅建築工事請負契約の締結について

Q 木造建築にしては高いが妥当な金額か。
A トイレ設備、非常時の為のタンク備付けに8千万円ぐらい掛かり全体での比率が高くなっている。

Q 落札金額は坪当たり120万円と大変高い。厨房設備も含まれているか。
A 含まれていない。

Q 設計をみると単独看板が無いがどうなのか。

A 大きな看板は今回の建築に入っていない。これから検討する。委員会として承認する。

新温泉町道の駅条例の制定について

Q 建物が出来てない。設管条例を制定すべきでない。
A 事前に条例を定めなくてはならない場合はその限りでないことをお願いする。

Q 名称「浜坂の郷」

は老人ホームにあるし、「山陰海岸ジオパーク」は「ジオパーク館」がある。愛称名は使えないのか。

A 検討委員会の決定事項ある。愛称名は検討する。

Q 町長は運営方法を指定管理でいくと明言した。担当課は間違いないか。
A 担当課はその予定である。

委員会として承認する。



10月12日午前10時から行われた道の駅起工式。工事の安全はもとより、指定管理等、運営体制の確立も急務である。

環境福祉常任委員会

平成28年9月8日開会

町民課

報告事項

ゴミ収集について

Q いつも明快な回答がない。なぜ町民が理解に苦しむ分別になったのか。

A 分別方法は再検討も視野に入れ、出来るだけ分かり易い区分に努める。



本町のごみ処理は広域と独自の処理で行われている。処理の合理的な方法での分別だが、未だに混乱が生じている。改善すべき。

Q リサイクルセンターへの分別収集が特に問題がある。

A センター改良も含め検討する。

害獣処理について

Q 道路上の処理はどうなるのか。

A 各道路の管理者の責任で処理する。

健康福祉課

報告事項

低所得者の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金支給状況について

Q 受給資格者に充分連絡をし、資格者全員に受給してもらうように努めるべきだ。

A 広報等で周知をしているが、全員受給には至っていない。全員受給に努める。8月末現在の支給状況は92.5%である。

上下水道課

報告事項

下水道接続状況について

Q 加入戸数の伸びがあまりみられないが。

A 加入促進に向け努力する。



多目的ホールで行われた病院フォーラム。医学研修生から抱負の発表があった。浜坂の印象は良好との意見であった。

浜坂温泉配湯事業について

Q 町の特別な事業であり、町づくりに寄与すべき。

A 加入金を下げても加入が増すとは考えにくい。検討努力はする。

下水道料金改定について

Q 答申がでたようだが、いつ改定するのか。

浜坂病院

報告事項

夏期セミナーについて

Q 医学生の思いなどをもっと広報すべきではないか。

A 出来る限り努力する。

A 今後十分に検討していく。

意見書・任命同意

議会日誌

意見書

●安心できる年金制度の実現を求める意見書
(原案可決)
可決された意見書は国会及び政府関係機関に提出した。

任命同意

●教育委員会委員
氏名 大林益代氏
(浜坂)を同意
任期：平成28年11月29日から4年間

一般質問の動画 QRコード掲載を開始

新温泉町のホームページでは、議会一般質問の動画を配信しています。
スマートフォンをお使いの方は、QRコード読み取りアプリを使用して簡単に動画を見ることができます。



第79回定例会 議案採決一覧表 (H 28.9)

議員名 議案名	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	賛成	反対	採決
	中井勝	谷口功	宮脇諭	植田光隆	岡坂峰雄	谷田一富	中村茂	西村敏弘	西村銀三	中井次郎	池田宜広	宮本泰男	岩本修作	高橋邦夫	小林俊之			
新温泉町防災行政無線(デジタル同報系)整備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	-	12	2	可決
新温泉町道の駅建築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	13	1	可決
新温泉町道の駅条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	13	1	可決
平成27年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について	欠席	×	○	○	○	○	欠席	×	×	×	○	○	○	×	-	7	5	可決
平成27年度新温泉町浜坂地区残土処分場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	欠席	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	×	-	11	1	可決
若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願書	欠席	○	×	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	×	-	10	2	採択
安心できる年金制度の実現を求める意見書について	欠席	○	×	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	×	-	10	2	可決

○は賛成、×は反対、-は議長職のため採決に加わらない。(全員賛成議案は省略)

議会日誌

- 〔7月〕
 - 4～5日 北但行政事務組合議会
議員視察研修
 - 《小牧市・四日市市》
 - 8日 議会広報調査特別委員会
 - 12～13日 兵庫県町議会議長会評議員会議及び議長研究会
 - 《神戸市》
 - 15日 議会広報調査特別委員会
 - 19日 第47回但馬広域行政事務組合議会定例会《豊岡市》
 - 21～22日 総務教育常任委員会視察研修《広島県神石高原町》
 - 26～27日 産業建設常任委員会視察研修《徳島県神山町》
- 〔8月〕
 - 2日 議会運営委員研修会《神戸市》
 - 7日 クリーンパーク北但竣工式《豊岡市》
 - 9日 但馬地域づくり懇話会《豊岡市》
 - 25日 議会運営委員会
 - 30日 美方郡広域事務組合議会定例会
- 〔9月〕
 - 1～29日 第79回新温泉町議会定例会
 - 2日 全員協議会
 - 2日 議会広報調査特別委員会
 - 5日 総務教育常任委員会
 - 6日 産業建設常任委員会
 - 8日 環境福祉常任委員会
 - 16日 決算特別委員会



挿し絵 清水伸子氏

地域活性化に少しは貢献

モスフロックス (新温泉町岸田)

代表 馬場 節子

活動内容は…毎年もみじコンサートへの参加

を目標に秋の農繁期が一段落した頃から活動をはじめます。「モスフロックス」は「芝桜」という意味です。かつて

海上集落に芝桜をたくさん植えていたのでそこから名前をつけました。

いつから…昭和64年10月奥八田小学校の児童の保護者に当時担任だった大森智恵美先生から「ママさん達でコーラスをはじめませんか。」と声をかけていただいたのがきっかけで、早速クラスメートのママさんを誘い2、3人からはじめましたが少しずつ人数も増えました。

メンバーは…当初からのメンバーもいますが両親の介護、仕事等で、ここ数年は協力していただけだけの方もおられ残念です。地域の若い方々にも参加していた



だいています。

会のセールスポイントは…子供達が成長していきななかで、私達も一緒に様々な経験を重ねました。そのこともあり服装はTシャツ、トレーナー、スラックス、スカーフ等の気楽なスタイルにしています。

今後の抱負は…お隣に住んでも車ですれ違うだけの昨今です。共通の趣味で集まり話をするのはとても楽しいことです。声を出す、歌を歌うことはボケ防止にも役立ちます。イベントへの参加で地域の活性化に少しは貢献しているのでは…と思っています。

皆さんにお願いしたいこと…歌のお好きな方、是非気楽においで下さい。

皆でコーラスするのはとても気分がいいものです。おばあちゃんになっても集まって歌えれば最高ですね。

編集後記

風がすずしく感じる季節になってきました。10月には上山高原で、「第11回全国高原サミット・シンポジウム」が開催されました。多数の皆様に参加していただき、自然のすばらしさを感じてもらえたと思います。

さて、本号では決算認定を中心に編集いたしました。今後も町民の皆様にはわかりやすい内容を届けられるよう努めていきますので、これからもご愛読宜しくお願いします。(S・I)

次回定例会は
12月です。
傍聴して下さい。

議会広報調査特別委員会

委員長	中村 茂
副委員長	池田宜広
委員	岡坂峰雄
	西村敏弘
	宮本泰男
	岩本修作

発行者 議長 小林俊之

発行・新温泉町議会 編集・議会広報調査特別委員会

〒669-6792 兵庫県美方郡新温泉町浜坂2673-1

TEL (0796) 821-5628